

～下記の研究を行います～

『 HIV 感染者の維持血液透析に関する 後ろ向き観察研究』

【研究責任者】 感染症内科 中嶋恵理子

【研究の目的】 当院に通院中の HIV 感染者における維持血液透析について、臨床的特徴や臨床経過を調査します。具体的には、慢性腎臓病の原因や、慢性腎臓病から末期腎不全に至り維持血液透析を導入する経緯、維持血液透析導入後の経過に関して、その実態を明らかにします。この研究により HIV 感染者に対する透析診療の参考となる知見を得ることを目的としています。

【研究の期間】 研究許可日～2029 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2010 年 1 月 1 日～2026 年 7 月 31 日までに当院で維持血液透析を受けた HIV に感染している方が対象です。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：使用しません。

情報：診療録から以下の情報を当院の初診時までさかのぼって収集します。

年齢、性別、推定感染経路、身長、体重、AIDS 発症歴の有無、B 型肝炎・C 型肝炎・梅毒感染の有無、併発疾患、透析導入に至った腎疾患の原因、処方された抗 HIV 薬の内容と処方期間、HIV 感染症関連検査(血漿中 HIV-1-RNA 量、CD4 陽性 T リンパ球数)、腎機能検査(BUN、Cr、eGFR 等)、血液生化学検査(TP、Alb、CRP 等)、血液学的検査(Hb 等)、HIV 感染診断日、抗 HIV 薬開始日、慢性腎臓病診断日、透析導入日、入院回数や入院日数等

【情報等収集開始日】 2026 年 9 月 28 日

【情報等の管理責任者の氏名】 国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】

本研究の資金源はありません。

【利益相反】

臨床研究における利益相反 (COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としますので、情報等収集開始日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 感染症内科 医師 中嶋恵理子